

「指名・報酬委員会」の設置について

取締役候補の指名および取締役の報酬の決定に係る取締役会機能の客観性と透明性のさらなる向上を目的として、任意の「指名・報酬委員会」を2019年3月に設置しました。

指名・報酬委員会は、取締役会の諮問を受け、取締役の選任・解任に関する株主総会議案の内容や、代表取締役社長の選任・解任に関する事項、および取締役の報酬に関する事項を審議し、取締役会に答申します。

荒川クリーンエイド

当行グループでは、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムにご協力いただき、荒川クリーンエイドを継続して実施しています。2018年度はグループ各社から48名が参加しました。この活動は、身近な社会課題である河川ごみの回収作業を通して、社員の環境に対する意識を高めるとともに、地域社会の一員として社会課題の解決に取り組む責任があることを認識するきっかけも提供しています。



株主還元について

当行では、株主還元の改善は重要な経営課題の一つと認識し、総還元性向の維持・向上に努めています。その一環として、当年度中は、資本の状況や収益力を踏まえ、1株価値の向上を図るため、合計約130億円の自己株式を取得しました。なお、2018年度の配当については、1株当たり10円の期末配当とさせていただきます。

会社概要

(2019年3月31日現在)

設立	1952年12月1日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	8303
連結総資産額	9兆5,711億円
資本金	5,122億円
単元株式数	100株
発行済株式数	259,034,689株 (自己株式含む)
従業員数 (連結)	5,179人

株主メモ

定時株主総会	6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(お問い合わせ先) ☎0120-782-031  
(土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)

ウェブサイトのご案内

IR情報をウェブサイトでも開示しています。是非ご覧ください。

<https://www.shinseibank.com/corporate/>

新生銀行 投資家 検索

新生銀行 TEL 03-6880-7000 (大代表)  
TEL 03-6880-8303 (グループIR・広報部)



証券コード：8303

株主の皆さまへ

2018年度 2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

TOP MESSAGE

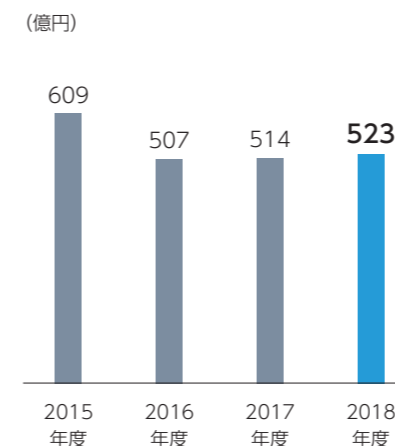
2018年度は第三次中期経営計画の最終年度でしたが、成長分野と位置づけている業務を中心に堅調に推移し、3カ年度連続の増益決算で終えることができました。

2019年度からは新たに策定した中期経営戦略のもと、一層の努力を重ねてまいります。新生銀行グループならではの視点と立ち位置を活かして、フルサービスの大手金融グループでは解決困難な社会課題に取り組むことに、私たちニッチプレーヤーとしての最大のチャンスと存在意義があり、企業家精神を持って取り組みます。

2019年5月  
代表取締役社長 工藤 英之

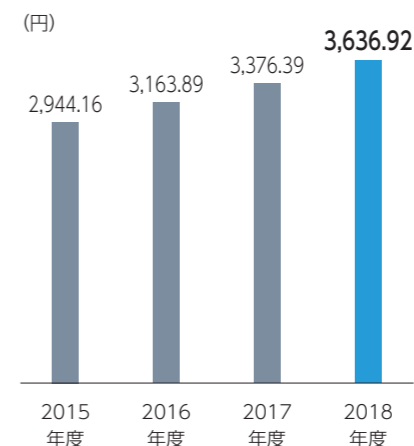


親会社株主に帰属する当期純利益



成長分野の堅調な推移により、前年同期比9億円増加となりました。

1株当たり純資産額\*



着実な利益の積み上げを背景に、前年同期比7.7%の増加となりました。

連結自己資本比率 (バーゼルⅢ、国内基準)



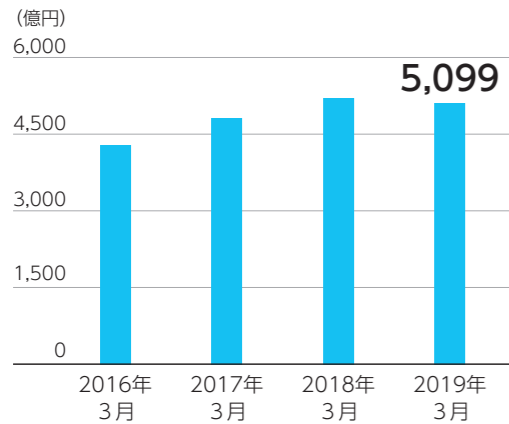
引き続き十分な水準を確保しております。

\*2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。2015年度の期首に株式併合が行われたと仮定し算出しております。

## セグメント別事業の概要

### 個人のお客さま向け業務

#### 無担保ローン残高



預金、資産運用商品、住宅ローンなどを行うリテールバンキング業務、無担保ローン業務、クレジットカード、割賦信用販売、決済業務など、個人のお客さま向け金融商品販売・サービスを行っています。

成長分野である無担保ローンは、2018年4月から「レイクALSA」という新ブランドで顧客獲得を開始しました。2019年3月末の無担保ローン残高は5,099億円となりました。

新生銀行グループの成長分野は、無担保カードローンビジネスと、ストラクチャードファイナンス\* ビジネス分野です。

新生銀行グループでは人材の専門性、多様性を組織成長のための最重要課題と位置づけております。今回の特集では「ESGの取り組み」についてその一部をご紹介します。



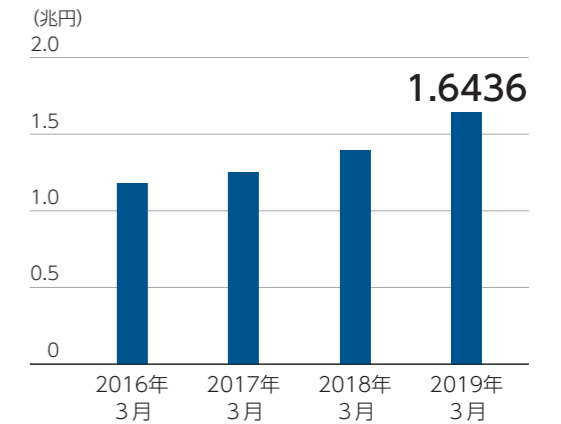
(株)新生銀行 代表取締役社長  
工藤 英之

### 法人のお客さま向け業務

事業法人、公共法人、金融法人のお客さまにファイナンスやソリューションを提供する業務、ストラクチャードファイナンス業務、プライベートエクイティ業務、リース業務、金融市場業務などを行っています。

ストラクチャードファイナンス\*業務について、プロジェクトファイナンスでは再生可能エネルギー案件を中心に取り組み、不動産ファイナンスでは市況動向を踏まえた運営を継続し、2019年3月末の営業性資産残高は1兆6,436億円となりました。

#### ストラクチャードファイナンス\*残高



\*ストラクチャードファイナンス ストラクチャードファイナンスとは、特別なストラクチャー（仕組み）を要するファイナンスのことを指すが、一般に特定のプロジェクト・資産のキャッシュフロー・価値に着目したプロジェクトファイナンス、ノンリコースファイナンスのかたちをとることが多い。当行では、不動産ファイナンス、プロジェクトファイナンス、M&Aファイナンス、再生ファイナンスなどを行っている。

## 特集 ESGの取り組み

金融ビジネスを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、働き方改革など価値観の大きな転換も起こりつつある中、当行グループでは、人材の専門性、多様性を組織成長のための最重要課題と位置づけて、絶えざる制度・施策のたな卸しと見直しを行っています。

差別化された金融ソリューションを提供できる高い専門性や実行力を持つ人材が、部署やグループの枠を超えて連携し、お客さまに最適な価値を提供するために、グループ一体での人材育成・人材活用および組織風土の醸成に取り組んでいます。

### 働き方改革

従業員のキャリア形成への価値観が多様化する中で、働き方の選択肢を広げ、一人ひとりが自律的なキャリア形成ができるよう、2018年4月より「兼業・副業」を全社員に解禁しています。この取り組みは大手銀行として初であり、制度導入により従業員の活躍の幅を広げるとともに、社外の人脈やネットワークの拡大がイノベーション創造にも寄与することを企図しています。こうした施策により、当行は、経済産業省と東京証券取引所の「なでしこ銘柄レポート」で「注目企業」として紹介されました。



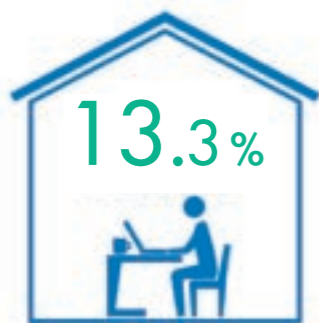
一人ひとりの自律的なキャリア形成に向け、個別にサポート

### ダイバーシティの促進

新生銀行代表取締役社長の工藤英之は、内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同しました。また、2018年2月に「グループ女性活躍推進委員会」を設置し、女性活躍推進計画の達成に向け、管理職への女性登用を進めると同時に、管理職層を対象にした講演会を開催するなど女性の積極的なキャリア支援や、従業員の働きやすい職場作りを進めています。2020年度には管理職（課長級以上）に占める女性社員の比率を17%（2019年3月末現在15.2%）、管理職（係長級以上）に占める女性社員の比率を35%（同31.6%）とする目標を掲げています。



#### 在宅勤務利用者



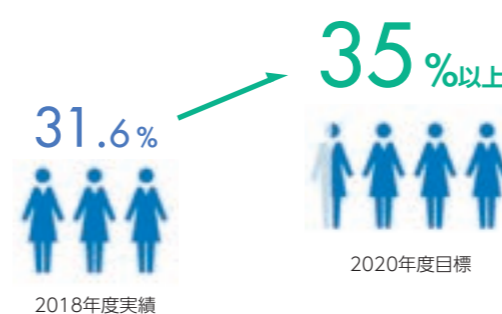
※新生銀行従業員に占める割合

#### 兼業・副業



※新生銀行従業員の兼業・副業者

#### 女性管理職比率



※新生銀行 女性管理職（係長級以上）比率

#### 女性の活躍をバックアップするキャリア開発制度

- リーダー育成研修
- 女性キャリアパス研修
- 産前産後休業取得前ヒアリング
- 育児休業期間中の自己啓発支援
- 産休・育休復職研修（休業者本人向け／管理職向け）